

インフォメーション

3/29 第12回定例理事会開催

- (1)2018年度各事業年間営業 供下連合会に委託し、その費用を事業規模等に応じて分担して支払っています。2018年度の「分担費の料率等」の上限について議決しました。
- (2)長期住所不明組合員の2017年度みなし自由脱退承認の件 定款に基づき、2018年3月31日付で長期(2年以上)にわたって住所不明で連絡が取れない組合員5,344名に対して、脱退処理を行うことを議決しました。
- (3)2018年役員報酬上限額決定の件 2018年の役員報酬上限額における理事分・監事分の配分について議決しました。
- (4)2017年度決算に向けた方針及び剰余金処分案方針決定の件 2017年度決算に向け、会計処理の方針と剰余金処分案の策定方針について議決しました。
- (5)パルシステム生活協同組合連合会との「分担費等」決定の件 パルシステム東京及びグループ生協は、商品カタログの製作や商品の仕分け、請求処理などをパルシステム生活協同組合連合会(以

かいぼりでよみがえる井の頭池

井の頭恩賜公園でのかいぼりを振り返ってみました。

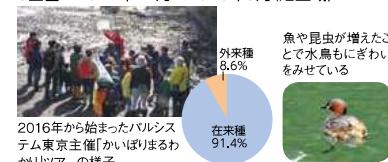
1回目 2014年1~3月(池の一部)



2回目 2015年11月~2016年3月(池全域)



3回目 2017年12月~2018年3月(池全域)



地域の仲間といっしょに

もともとかいぼりは農業用の溜め池を維持するのに行われた行事。捕った魚をみんなで食べるなど、農家同士の絆を深める役割も果たしていました。

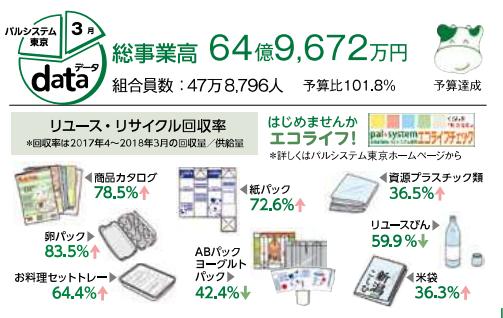
「今でも同じです。近くの池のかいぼりに参加することで、仲間との交流が深まり、地域の自然を大切にする心が育ちます。何より子どもから大人まで、誰もが楽しめるところがよいですね」と片岡さん。みなさんも、近所の池や水場に興味をもってみませんか?

飼っている金魚も池に放せば外来種

外来種とは外国から来た生き物に限らず、人が外部から持ち込んだ生き物のことです。ペットとして飼っている金魚や亀も、池に放せば外来種となり池の調和を崩します。

かいぼりで駆除された外来種の命は、本来は奪われるはずのなかったもの。ペットは最後まで責任をもって飼いましょう。

取材は2018年5月18日現在



池の水をぜんぶ抜く かいぼりの目的って何だ?

- 昔から農業用の溜め池を維持する目的で行われてきた
- 都市部ではおもに公園池などの水質改善や、生態系の回復が目的
- 参加することで市民のつながりを深める効果も



今月のキーワード

かいぼり

「池の底から自転車が…」など、「ゴミ」の発掘に 관심が集まりがちな「かいぼり」。けれども目的は池の掃除の先にある大切なことでした。

かいぼりが必要な池とは?

緑褐色に濁った水の中で、大きなコイがひしめくようにエサを求める姿…。私たちがよく見る池の風景ですが、これこそかいぼりが必要な池だと、認定NPO法人人生

生態工房の片岡美さんは話します。

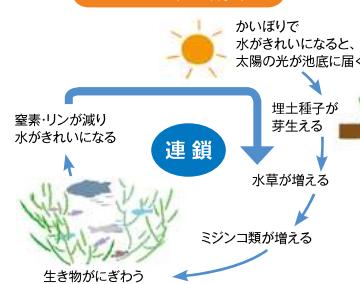
「在来生物が減り、調和が崩れてしまつた池の典型的です。かいぼりは、そのような池を多様な生物でにぎわう本来の姿に戻す、自然再生の手段です」

水草は多様性を生み出す装置

かいぼりチームの火付け役となつた井の頭池では、2014年から3回のかいぼりを実施し、劇的な回復を遂げています。中でも注目の成果は、約60年前に絶滅したと考えられていた水草、イノカシラフラスコモの発芽でした。かいぼりで外米魚等を排除し、池底を干して水の透明度が増したことにより、池底に眠っていた種が長い眠りから覚めたのです。

「水草はさまざまな生き物の生息基盤です。かいぼりによって水草が復活したことには、生物多様性保全において重要なポイントです」と片岡さんは話します。

かいぼりの効果



かいぼりの手順

